



公益財団法人

杉浦記念財団

2022年度活動報告書

住み慣れた地域で
自分らしく暮らし続けるために



御礼とご挨拶

私たち公益財団法人杉浦記念財団は、2011年に「一般財団法人 杉浦地域医療振興財団」として発足し、今年（2023年）で設立13年目を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

設立以来、主事業となっている杉浦地域医療振興賞（杉浦賞）と杉浦地域医療振興助成（杉浦助成）も2022年度で第11回を数えました。今回も全国各地から多数の応募をいただき、7月にはコロナ禍の中、十分な感染予防対策をとりながら授与式を開催させていただきました。その他、各種研究会や健康増進セミナー等も多くの先生方のご協力により活発に推進されており、10月には、愛知県地域再生・まちづくり研究会による「第5回長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」も開催することができました。

まだまだ至らぬところもございますが、引き続き皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、地域社会に貢献して参りたいと考えております。



評議員会長 杉浦 広一
理事長 杉浦 昭子

設立経緯と趣意

私ども夫婦は、1976年12月、医薬品・健康食品・化粧品・日用品の販売および処方せん調剤を目的に掲げる薬局を愛知県西尾市に開設して以来、「地域のかかりつけ薬局」としてスギ薬局を育てて参りました。幸運にも、皆様の多大なるご支援をいただき、たくさんのお客様・患者様にご利用いただける企業に成長させていただきました。

スギ薬局グループが創業35周年を迎えた2011年9月1日に、それまでのご支援に報いるため、社会貢献という形で少しでもお役に立ちたいとの思いから、杉浦広一・杉浦昭子を設立人として「一般財団法人 杉浦地域医療振興財団」を設立いたしました。そして2015年7月1日には公益認定を受け、名称を「公益財団法人 杉浦記念財団」に改めました。

これを機に、引き続き地域包括ケアシステムの実現に向けて活動する個人・団体を支援する活動を継続することに加え、認知症問題や介護予防の分野でも、幅広く社会のお役に立てる活動を推進して参ることにいたしました。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、一つひとつ実績を積み重ねて参る所存ですので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

団体概要

私たちの
の
使命

『住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために』
皆で生きる、長生きを喜ぶ、地域社会で育む。

誕生から高齢期まで、多様な社会活動の支援ならびに健康を育む人材教育を通じ、地域貢献を目指します。地域共生社会の実現に向けて活動する、個人・団体を支援しています。

役員 (五十音順・敬称略) 2023年3月1日現在

理事・監事

理事長



杉浦 昭子
スギホールディングス株式会社
相談役

副理事長



杉浦 伸哉
株式会社スギ薬局
取締役副社長兼事業本部本部長



秋下 雅弘
東京大学 大学院医学系研究科
教授 (老年病学・加齢医学)



大島 伸一
国立研究開発法人国立長寿
医療研究センター 名誉総長
日本福祉大学 常務理事



亀井 浩行
名城大学薬学部
病院薬学研究室 教授



高瀬 義昌
医療法人社団至高会 理事長
たかせクリニック 院長
公益財団法人 日米医学医療交流財団 理事



鍋島 俊隆
藤田医科大学 客員教授
医薬品適正使用推進機構 理事長
アレクサンドル・イワン・クザ大学
名古屋大学 名誉教授



野本 慎一
京都大学 名誉教授
一般社団法人
電子連絡ノート協会 理事長

監事

監事



久常 節子
元 公益社団法人
日本看護協会 会長



堀 美智子
医薬情報研究所
株式会社エス・アイ・シー
取締役医薬情報部門責任者



山村 恵子
藤田医科大学 医薬科学部
先進診断システム探索部門
高度薬学情報管理学 教授



神谷 誠
公認会計士税理士神谷誠事務所 所長
スギホールディングス株式会社
社外監査役



加藤 克彦
加藤克彦
公認会計士税理士事務所
所長

評議員

評議員会長



杉浦 広一
スギホールディングス株式会社
顧問



荒井 秀典
国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
理事長



上野 桂子
元 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 監事
元 一般社団法人 全国訪問看護事業協会
副会長 (現 顧問)



木村 隆次
一般社団法人
青森県薬剤師会 会長
公益社団法人
青森県介護支援専門員協会 会長



葛谷 雅文
名鉄病院 院長



倉田 なおみ
昭和大学薬学部 社会健康薬学講座
社会薬学部 臨床薬学講座
臨床栄養代謝学部門 客員教授



白澤 政和
国際医療福祉大学
大学院 教授



杉浦 克典
スギホールディングス株式会社
代表取締役社長



鈴木 匡
名古屋大学
大学院薬学研究所 教授



高橋 敏士
東京通信大学 名誉教授
高齢者住宅協会 顧問
全国居住支援法人協議会 顧問
全国日常生活支援住居施設協会 顧問
全国ホームホスピス協会 理事



田中 滋
埼玉県立大学 理事長
慶応義塾大学 名誉教授



辻 哲夫
東京大学 高齢社会総合研究機構
未来ビジョン研究センター
客員研究員
一般社団法人 医療経済研究
社会保険福祉協会
医療経済研究機構 理事長



水流 聡子
東京大学 総括プロジェクト機構
「Quality and Healthを基盤におく
サービスエクセレンス社会
システム工学」総括寄付講座
東京大学 大学院工学系研究科
人工物工学研究センター 特任教授



豊田 百合子
大阪保健福祉専門学校 副学長
元 公益社団法人
大阪府看護協会 会長 (現 顧問)



伴 信太郎
中津川市地域総合医療センター
センター長
愛知医科大学 医学教育センター
特命教育教授

名称

公益財団法人 杉浦記念財団
(英語名: The Sugiura Memorial Foundation)

所在地

〒474-0011
愛知県大府市横根町新江62番地の1

ホームページ

<https://sugi-zaidan.jp>

設立

2011年9月1日(2015年7月1日公益認定)

事業

- (1) 地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- (2) 地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画
- (3) 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- (4) 医学・薬学・看護学・福祉学・社会保障等に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- (5) 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- (6) その他当財団の目的を達成するために必要な事業

2022年度の活動

第11回 杉浦賞（杉浦地域医療振興賞）



杉浦昭子理事長



大島伸一審査委員長

いまだかつてない超高齢社会。人々が住み慣れた地域でこれからも安心して暮らし続けるためには、医師、薬剤師、看護師などの医療従事者および介護福祉従事者といった、さまざまな職種の方々の連携が地域医療に欠かせません。

そこで当財団では、地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人の取り組みを褒賞する杉浦賞（杉浦地域医療振興賞）を制定し、その主体者である団体・個人を支援しています。

地域医療に貢献をした人々の活動に光を当てることで、全国に活動の機運が広がること、また奨励、促進する環境を醸成することを目的としており、これまでの11年間で計45団体に授与いたしました。

◎杉浦賞 審査委員

役割	氏名	所属・役職
審査委員長	大島 伸一 氏	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長 日本福祉大学 常務理事
委員	秋山 弘子 氏	東京大学 名誉教授 東京大学 高齢社会総合研究機構 客員教授
	柴田 博 氏	桜美林大学 名誉教授 一般社団法人 日本応用老年学会 会長
	辻 哲夫 氏	東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 理事長
	久常 節子 氏	元 公益社団法人 日本看護協会 会長

※審査委員長を除き五十音順（2022年12月現在）

第11回 杉浦賞受賞者

団地を一つの大きな家族に

株式会社ぐるんとびー
特定非営利活動法人ぐるんとびー
菅原 健介 氏 株式会社ぐるんとびー 代表取締役



東日本大震災後の心のケア
～地域で取り組む多職種チームのキセキ～

特定非営利活動法人相双に新しい精神
科医療保健福祉システムをつくる会
米倉 一磨 氏 相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長



在宅で生活する医療的ケア児と
その家族を支える多職種ネットワーク連携活動

宮崎 つた子 氏 e-ケアネットよっかいち 代表



授与式の様子



杉浦伸哉副理事長



※各QRコードから動画もご覧いただけます。(受賞者の所属・役職は受賞当時)

第11回 杉浦助成 (杉浦地域医療振興助成)



荒井秀典選考委員長



超高齢社会の一層の進展、人生100年時代にあつて、「地域包括ケアの実現」とともに「健康寿命の延伸」が課題となっています。そこで当財団では、医師、薬剤師、看護師等の医療従事者、及び介護福祉従事者等の多職種が連携して、地域医療連携の新しいモデルを実現し、社会へ

の貢献を果たすことを願い、杉浦助成 (杉浦地域医療振興助成) を制定しました。

「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」の推進に寄与する研究や活動を支援することを目的としており、これまでの11年間で計173団体に授与いたしました。

◎杉浦助成 選考委員

役割	氏名	所属・役職
選考委員長	荒井 秀典 氏	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
委員	安藤 明夫 氏	前 中日新聞編集委員 (医療担当)
	大原 弘隆 氏	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 病院長
	齋藤 訓子 氏	公益社団法人日本看護協会 副会長
	高瀬 義昌 氏	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長 公益財団法人日米医学医療交流財団 理事
	平井 みどり 氏	神戸大学 名誉教授 京都大学 大学院医学研究科 特任教授
	堀 美智子 氏	医薬情報研究所株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者
	岡田 啓 氏	元 愛知医科大学 教授 兼 薬剤部長 株式会社スギ薬局 DI室
	藤田 あゆみ 氏	株式会社スギ薬局 人材開発部

※選考委員長を除き五十音順 (2022年12月現在)

第11回 杉浦助成対象者



研究分野

- 在宅医療福祉職が体験する臨床倫理的問題と倫理コンサルテーションのニーズ

武 ユカリ 氏

森ノ宮医療大学 看護学部 看護学科 准教授

- AIを用いた動作解析技術の確立と、遠隔リハビリテーション医療の創出

宇佐美 琢也 氏

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 整形外科 助教

- 認知症の人と家族の介護サービス利用や施設入所への納得と後悔に関する参加型調査研究

斎藤 民 氏

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年社会科学部 部長

- 医療系学生が働きかける、認知症当事者及び家族介護者、そして一般市民に向けたオンライン健康増進教室

末松 三奈 氏

名古屋大学 大学院医学系研究科 地域医療教育学講座 特任講師

- 高齢介護施設の入居者の転倒リスク予測AIの開発研究

佐藤 宏樹 氏

東京大学 大学院薬学系研究科 特任准教授 / 大学院情報学環 准教授

- 多剤併用の克服を目指したチーム基盤型学習 (team-based learning:TBL) による教育プログラムの開発と評価

相宮 幸典 氏

藤田医科大学 大学院看護学研究科 研究員

- アルコール飲料の飲用に関する情報介入研究

菊地 基雄 氏

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 教授 (診療担当)

- 演劇を用いた地域に開かれたカフェ型健康教室の開発と評価
～多職種連携による糖尿病劇場の経験を踏まえて～

岡崎 研太郎 氏

九州大学 大学院医学研究院 地域医療教育ユニット 助教



活動分野

- 北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)の全国展開

小野 賢二郎 氏

金沢大学 大学院医薬保健学総合研究科 脳神経内科学 教授 / 認プロプロジェクトリーダー

- NARAソックス・プロジェクト

今井 崇裕 氏

医療法人康仁会 西の京病院 メディカルプラザ薬師西の京 血管外科センター 医師

- 耳育プロジェクト
～みんなの耳にやさしい街づくり～

宮谷 真紀子 氏

CLEAR JAPAN 代表

- 外国人が安心して暮らせる地域創生
～処方箋トラブル解消に向けたシミュレーション～

鈴木 渉太 氏

奈良県立医科大学附属病院 臨床研究センター 助教

- 認知症をジブンゴトとして考える地域を目指して
～多様なつながり・学びを通し、認知症になっても楽しめる地域づくり～

尾形 京子 氏

飯岡・永井地域包括支援センター 第二層生活支援コーディネーター 兼 認知症地域推進員

- 山梨県心不全ネットワークの体制整備、LAVITAシステムによる遠隔診療

中村 和人 氏

山梨大学医学部附属病院 循環器内科 学部内講師

- おがる運動教室(おがる：山形の方言で成長する)
～空き家一軒家を活用した運動教室から始まる介護予防の繋がりに～

三瀧 英樹 氏

合同会社大石田生活 代表



研究会

1 都市型の看護介護医療等連携研究会

研究会の趣旨

都市に住む高齢者が、これまでの住み慣れた地域で暮らし続けることを前提として、それを支援するための多職種協働のあるべき姿について議論を重ね、成果報告を作成します。地域の急激な高齢化に対応する、安心して生活できる普遍的な都市（東名阪）モデルの処方せんの作成を目指します。これらを通じて都市型の地域包括ケアシステムを考えます。



第4期
(2019年5月～22年12月)

地域包括ケアシステムの深化
～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～

[座長] 埼玉県立大学 理事長
慶応義塾大学 名誉教授
田中 滋 氏

◎2022年度

回数	開催日	テーマ／講師
第13回	3月17日(木)	「2040年の医療・介護 ～コロナ禍から見えてきたもの～」 香取 照幸 氏 上智大学 総合人間科学部 教授／一般社団法人未来研究所 龍代表理事
第14回	7月 7日(木)	「地域を一つの大きな家族に ～リアルとメタバースからみた都市型医療福祉の未来像～」 菅原 健介 氏 株式会社ぐるんとびー 代表取締役 川島 勇我 氏 株式会社ぐるんとびー デザイナー
第15回	9月 8日(木)	「相双地域における近隣社会の変化と介護／福祉／医療」 中沢 正夫 氏 代々木病院 精神科医
第16回	11月10日(木)	「医療的ケアが必要な子どもの地域包括ケアシステムの課題と養育者の現状」 宮崎 つた子 氏 三重県立看護大学 小児看護学

2 地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会

研究会の趣旨

地域包括ケアの中で、医薬品適正使用の観点からチーム医療における協働を進めます。特に高齢者の多剤服用の適正化に焦点を当て、実施体制の確立を目指します。

[座長] 東京大学 大学院医学系研究科 教授 (老年病学・加齢医学)

秋下 雅弘 氏



◎2022年度

回数	開催日	テーマ／講師
第41回	2月 9日(水)	「食事・運動などの生活習慣改善による循環器疾患対策」 湊口 信也 氏 岐阜市民病院心不全センター・岐阜大学名誉教授・特任教授
第42回	4月13日(水)	「小児在宅医療における調剤薬局の役割」 水野 美穂子 氏 社会医療法人宏潤会大同病院 大同こども総合医療センター
第43回	6月 8日(水)	「残薬を管理することが、医薬品の安全適正使用への近道!」 福井 繁雄 氏 一般社団法人Life Happy Well
第44回	8月10日(水)	「地域で考える薬剤適正使用に向けた宝塚市の取り組み」 琢磨 寛孝 氏 宝塚市薬剤師会 理事
第45回	10月12日(水)	「高齢者糖尿病の薬物療法について ～多職種協働の視点を踏まえて～」 末松 三奈 氏 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学大学院医学系研究科 地域医療教育学講座 特任講師 糖尿病専門医 博士(医学)
第46回	12月14日(水)	「薬剤総合評価調整加算／薬剤調整加算 ～光と影～」 水野 智博 氏 藤田医科大学 医学部 臨床薬剤科 准教授

3 愛知県地域再生・まちづくり研究会

研究会 の 趣旨

「孤立死しない社会を目指す」「高齢社会に合った健康の概念を考え直す」「高齢者こそ、これからの社会の資源と考える」「世代間の協力、暮らしの視点、専門家との連携を重視する」の4点を基本に、自立的で持続的な社会を実現できるまちづくりを追究しています。

現在は、「これから生まれてくる人の為に2060年をどうデザインするか」をテーマとし、若手世代(当事者世代)を交えて「プラットフォーム」の策定のための課題を洗い出した上で、それを解決する方法を検討。また、成果を広く地域の皆様に発信するために、2016年より「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」を開催、今年度も10月に実施しました。

[座長] 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長
大島 伸一 氏



◎2022年度

回数	開催日	内容	
第39回	1月21日(金)	3年間の研究報告	若手メンバー報告
第40回	2月18日(金)	研究報告 メンバーの視点報告	若手メンバー報告
第41回	3月25日(金)	3年間の報告 意見交換	若手メンバー報告/アドバイザー・オブザーバー意見交換
第42回	5月13日(金)	研究会メンバー ディスカッション	
第43回	6月 7日(金)	若手メンバー報告まとめ/次期研究会を考える	
第44回	7月29日(金)	シンポジウムタイトル骨格構成の決定	
第45回	8月26日(金)	シンポジウム組み立て	
第46回	9月11日(日)	次世代対面対談	
第47回	10月 2日(日)	第5回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム～人生100年時代 技術がかわる 社会がかわる 生き方がかわる」	

[第5回シンポジウムより]



杉浦昭子理事長



大島伸一座長



中京テレビ 恩田千佐子アナウンサー(ゲスト講演)

※各QRコードから動画もご覧いただけます。

健康増進セミナー

スギ薬局グループと協力



地域医療の振興には、幅広い方々にその必要性を知っていただくことが不可欠です。本セミナーは、ご高齢者やそのご家族などの地域の皆様に最近の医療や病気の予防について理解していただき、病気の早期発見・早期治療や介護予防・認知症予防の必要性をより身近に感じていただくことを目的としています。各セミナーでは、地

域の最前線で活躍している医師や各県の国立・公立大学病院の先生方にわかりやすく講演をしていただきます。

また、会場では、体脂肪・筋肉量の測定会をはじめ、薬剤師・管理栄養士による健康維持のためのアドバイスや、ビューティアドバイザーによる、おでかけメイク体験も実施しています。

主な協賛企業

アース製薬株式会社、味の素株式会社、株式会社伊藤園、イチジク製薬株式会社、エーザイ株式会社、エステー株式会社、大塚食品株式会社、大塚製薬株式会社、花王グループカスタマーマーケティング株式会社、カゴメ株式会社、カルビー株式会社、キッコーマン食品株式会社、キリンビバレッジ株式会社、興和株式会社、小林製薬株式会社、小林薬品工業株式会社、佐藤製薬株式会社、サンスター株式会社、サントリー、ジョンソン・アンド・ジョンソン株式会社、ゼリア新薬工業株式会社、大王製紙株式会社、第一三共ヘルスケア株式会社、株式会社ネイチャーラボ、株式会社PALTAC、久光製薬株式会社、株式会社ファンケル、株式会社明治、森田薬品工業株式会社、森永乳業株式会社、山本漢方製薬株式会社、UHA味覚糖株式会社、ユニ・チャーム株式会社、養命酒製造株式会社、ライオン株式会社、株式会社ロッテ（企業名五十音順）

ご参加いただいた皆様の声

- これからの超高齢社会に必要なことばかり。無料で体験や勉強をさせて頂き、ありがとうございました。これからも続けて下さい。(50代女性)
- 今回が2回目の参加です。母と一緒に参加しましたが、今回も大満足でした。スタッフの方もみなさん親切で、講演会も勉強になりました。次回も参加したいです。(40代女性)
- 妻に誘われて参加しました。健康には気を付けているつもりですが、身体を数値でみる事が出来て、良かったです。講演会も分かり易くて良かったです。充実した1日になりました。(70代男性)
- 体験ブースが良かった。なかなかこんな機会はない。自分の思っていた数値と測定値が違ってショックだった。間の時間のDVD体操も、とても参考になった。こつこつ努力します。(70代女性)
- スギさんの企業活力を活用した今回のイベントは、とてもためになり、面白かった。社会福祉士として活かしていきます。(40代男性)

◎2月開催

場所	開催日	テーマ／講師	参加人数
愛知・埼玉 大阪（2カ所） 石川 （5元中継）	2月20日（日）	『腸内細菌と日本食：認知症との深い関係』 佐治 直樹 氏 国立長寿医療研究センター もの忘れセンター副センター長	298名
		『セルフメディケーションのコツ』 蓮実 豊 スギ薬局DI室・御油店／薬剤師・糖尿病療養指導士	



佐治 直樹 氏



蓮実 豊



◎5月開催

場所	開催日	テーマ／講師	参加人数
愛知・埼玉 大阪（2カ所） 石川 （5元中継）	5月29日（日）	『コロナに負けず「人生100年」を幸せに生きる』 鎌田 實 氏 諏訪中央病院名誉院長、地域包括ケア研究所所長 「がんばらない介護生活を考える会」代表	602名
		『年代別のダイエット』 味噌 一輝 スギ薬局 管理栄養士 人材開発部 医療教育課 藤田医科大学 大学院 保健学研究科	



鎌田 實 氏



味噌 一輝



◎10月開催

場所	開催日	テーマ／講師	参加人数
愛知・埼玉 大阪（2カ所） 石川 （5元中継）	10月16日（日）	『気をつけたい、多すぎる薬と副作用』 秋下 雅弘 氏 東京大学大学院医学系研究科 教授 専門：老年医学、老年薬学	663名
		『薬と上手に付き合おう かぜの薬・胃の薬・腸の薬を中心に』 神保 美紗子 スギ薬局DI室 名古屋市立大学大学院 薬学研究科 臨床准教授	



秋下 雅弘 氏



神保 美紗子



※各QRコードから動画もご覧いただけます。

インターネット研修

薬剤師の方が地域包括ケアを分かりやすく学べ、その中で必要な知識、働き方、将来求められる役割まで学べるインターネット研修システムです。

また、当インターネット研修は、日本薬剤師研修センターの「e-ラーニング研修」に設定されており、薬剤師の方がいつでも受講できる仕組みになっています。



◎主な講義 (一部抜粋)



■服薬指導に知っておきたい最近の薬物療法シリーズ
■薬物療法セミナー 全18講座
スギ薬局 DI室 薬剤部長
医学博士/元愛知医科大学教授
岡田 啓



■濫用等のおそれのある医薬品販売時の注意
■濫用指定医薬品以外での濫用に注意が必要な成分
医薬情報研究所/株式会社エス・アイ・シー
堀 美智子 先生



■医療のパラダイム転換
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長
大島 伸一 先生



■予防政策のパラダイム拡張
千葉大学予防医学センター教授
近藤 克則 先生



■高齢者に対する薬物療法
東京大学大学院医学系研究科加齢医学
東京大学医学部附属病院老年病科 教授
秋下 雅弘 先生



■薬剤経済学入門
薬剤経済評価でできること・できないこと
横浜市立大学医学群・東京大学大学院薬学系研究科
五十嵐 中 先生



■新型コロナウイルス 2019 (COVID-19) について
埼玉医科大学医学部
総合医療センター 総合診療内科
三村 一行 先生



■介護施設での医薬品適正使用
～専門医、専門薬剤師によるQ&A～
医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長
認知症サポート医/日本プライマリ・ケア連
学会認定医/日本老年精神学会専門医
高瀬 義昌 先生
横浜あおばの里 薬局長
老年薬学認定薬剤師
丸岡 弘治 先生



■服用薬剤調整支援料を算定しよう
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部
溝神 文博 先生



■地域包括ケアの展望 と在宅医療
一薬剤師への期待—
東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
辻 哲夫 先生



■地域包括ケアシステムの深化・進化
日本福祉大学 副学長/社会福祉学部 教授
原田 正樹 先生



■発達障害の基礎とその対応
日本福祉大学 中央福祉専門学校 言語聴覚士科
大岡 治恵 先生



■これからの地域ヘルスケアシステム
元名古屋大学大学院医学系研究科
総合医学専攻総合診療医学分野 教授
伴 信太郎 先生



■論文を読むとはどういうこと? :
EBM初めの一步
特定非営利活動法人AHEADMAP 共同代表
医療法人社団 徳仁会 中野病院
青島 周一 先生



■がん 乳がんを中心に ①、②
大阪プレストクリニック
街かどがんサロン・サンフラワー
阿南 節子 先生



■認知症になっても輝けるまちへ
ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会
森 安美 様
(総合プロデューサー、主任介護支援専門員)

※QRコードから動画もご覧いただけます。

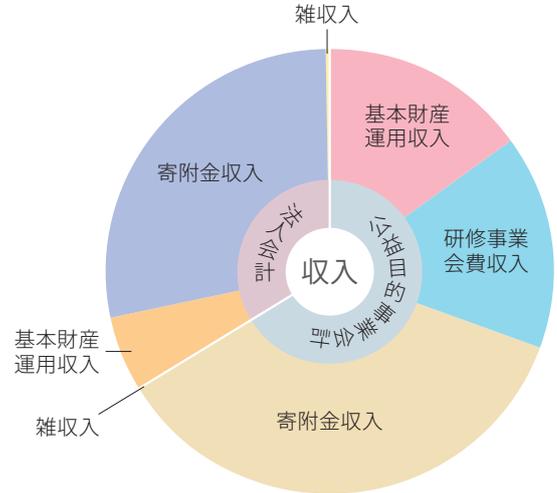
財務会計報告 (2022年度)

多くのご支援をありがとうございます。当財団は、皆様からのご支援・ご協力をいただきながら活動を続けています。2022年度(1～12月)の収支は以下の通りです。

収入

(単位：円)

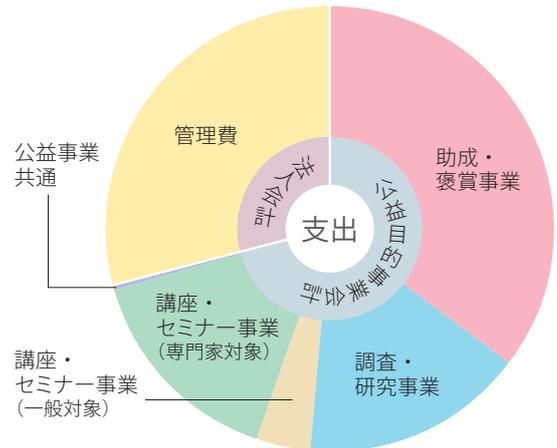
公益目的 事業会計	基本財産運用収入	11,172,338
	研修事業会費収入	11,326,216
	寄附金収入	26,204,316
	雑収入	28,129
	小計	48,730,999
法人会計	基本財産運用収入	4,000,000
	寄附金収入	20,645,684
	雑収入	184,625
	小計	24,830,309
合計		73,561,308



支出

(単位：円)

公益目的 事業会計	事業費	助成・褒賞事業	26,829,991
		調査・研究事業	12,344,868
		講座・セミナー事業(一般対象)	3,022,474
		講座・セミナー事業(専門家対象)	11,493,994
		公益事業共通	170,996
		小計	53,862,323
法人会計	管理費	22,146,370	
合計		76,008,693	



*収支差額△2,447,385円につきましては、前期までの繰越財産より賄っております。

●多数の企業にご支援をいただきました。

アース製薬株式会社、アイオニック株式会社、有限会社アイケイワイ、株式会社アイスコ、愛知県経済農業協同組合連合会、アイリスオーヤマ株式会社、株式会社浅田鮎、株式会社朝日オリコ名古屋、旭食品株式会社、朝日電器株式会社、朝日メンテナンス工業株式会社、味の素株式会社、アスト株式会社、アズフィット株式会社、株式会社アライン、株式会社アラクス、株式会社あらた、株式会社アルファ、アルフレッサ株式会社、アルフレッサヘルスケア株式会社、株式会社EMシステムズ、株式会社伊勢半、イチジク製菓株式会社、イデシゴヨー株式会社、伊藤忠オリコ保険サービス株式会社、株式会社宇津木産業、株式会社unerry、株式会社宇野設計、株式会社エイジス、株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ、江崎グリコ株式会社、有限会社エス・プランニング、有限会社SKYかわなか、エステー株式会社、株式会社エヌデーデー、エビス株式会社、エムイーエレクトリック株式会社、Meファルマ株式会社、株式会社近江兄弟社、株式会社大木、株式会社太田胃散、大塚食品株式会社、大塚製薬株式会社、株式会社オカムラ、株式会社オノコム、貝印株式会社、花王グループカスタマーマーケティング株式会社、株式会社カナオコーポレーション、カナカン株式会社、亀田製菓株式会社、カルビー株式会社、河淳株式会社、合同会社河内建築計画事務所、カンダコーポレーション株式会社、救心製薬株式会社、協和薬品工業株式会社、キョーリンメディア株式会社、株式会社キンカン、株式会社グッドサイクルシステム、クラシエ工業株式会社、株式会社クレオ、株式会社ケーエスケー、健栄製薬株式会社、コーセー化粧品販売株式会社、コーセーコスモポート株式会社、国際商業出版株式会社、小林製薬株式会社、小林薬品工業株式会社、サイト建設株式会社、相模ゴム工業株式会社、坂元醸造株式会社、佐川印刷株式会社、佐藤製薬株式会社、株式会社サトー、株式会社サニクリン名古屋、サラヤ株式会社、三甲株式会社、参天製薬株式会社、次亜科学工業株式会社、株式会社CBCテレビ、株式会社CBCラジオ、JA全農たまご株式会社、J-NET株式会社、ジェクス株式会社、資生堂ジャパン株式会社、株式会社ZIP-FM、ジャパンフリーストリー株式会社、ジャベル株式会社、株式会社新東通信、株式会社スギ薬局、スギ薬局ユニオン、株式会社スズケン、ゼリア新薬工業株式会社、センコー株式会社、泉南乳業株式会社、株式会社外林、大王製紙株式会社、大幸薬品株式会社、大日本印刷株式会社、大日本除虫菊株式会社、大鵬薬品工業株式会社、高末株式会社、株式会社タカソノ、株式会社ダリヤ、チェックポイントジャパン株式会社、株式会社中日新聞社、中日販売株式会社、株式会社ツムラ、ディエスイー株式会社、株式会社寺岡精工、デリバリエース株式会社、テレビ愛知株式会社、株式会社電響社、株式会社店研創意、デンタルプロ株式会社、東海テレビ放送株式会社、東芝テック株式会社、東邦薬品株式会社、東和薬品株式会社、株式会社トーカー、凸版印刷株式会社、トップフォームズ株式会社、株式会社名古屋カード、株式会社なとり、株式会社ナリス化粧品、株式会社ニチレイフーズ、ニッケン文具株式会社、日新実業株式会社、日清食品株式会社、日本電気株式会社、株式会社ネイチャーラボ、ネクスタ株式会社、パール金属株式会社、白元アース株式会社、株式会社博報堂、株式会社バスクリン、株式会社ハナノキ、株式会社ハマキョウレックス、株式会社林原、株式会社PALTAC、株式会社ビーライトネオ、ビジョン株式会社、株式会社日立物流中部、株式会社平賀、廣瀬無線電機株式会社、株式会社ファンケル、株式会社フェズ、福助工業株式会社、株式会社富士、株式会社藤栄、フマキラー株式会社、プリ・テック株式会社、株式会社Basic、株式会社誠商会、株式会社マスパック、丸富製紙株式会社、株式会社三宅建築設計事務所、株式会社明治、明祥株式会社、株式会社メディアセオ、メディア株式会社、株式会社メニコン、持田ヘルスケア株式会社、森川産業株式会社、森永乳業株式会社、八神商事株式会社、山崎製パン株式会社、株式会社山星屋、山本漢方製薬株式会社、ユースキン製薬株式会社、株式会社USEN、株式会社ユーワ、ユニ・チャーム株式会社、養命酒製造株式会社、横山製薬株式会社、株式会社読売、ライオン株式会社、株式会社リテールマーケティングワン、レック株式会社、株式会社ロッテ、株式会社ワイエム・アーキソリューションズ、株式会社若都建設、株式会社ワコーパレット、ワシズ機械株式会社 その他 (五十音順)

これまでの活動記録

杉浦賞受賞者一覧 (2012～2021年度)

第1回 杉浦賞受賞者 (2012年度)

群馬県における地域リハと認知症の地域医療・リハ・ケア連携システムの構築：群馬リハネットとぐんま認知症アカデミーの活動

山口 晴保 氏

ぐんま認知症アカデミー 代表幹事
群馬県地域リハビリテーション協議会 委員長
群馬リハビリテーションネットワーク 副理事長

庄内地域医療連携の会の活動

瀬尾 利加子 氏

庄内地域医療連携の会 事務局長
(所属：鶴岡協立病院 地域医療連携室)

歯科医師・歯科衛生士と在宅医療連携拠点が構築する医科歯科連携促進

川越 正平 氏 / 山口 朱見 氏

医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所

薬剤師の診察前面談から始まる新たな薬局機能の開発
～ワーファリン服用患者のPT-INR管理の情報共有システム～

山村 恵子 氏

愛知学院大学 薬学部 教授



第2回 杉浦賞受賞者 (2013年度)

地域包括支援センターを核とした、高齢者見守りネットワーク構築
～おおた高齢者見守りネットワークの活動～

中村 一孝 氏

おおた高齢者見守りネットワーク 代表

澤登 久雄 氏

おおた高齢者見守りネットワーク 発起人
大田区地域包括支援センター入新井 センター長
社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 医療福祉部 兼 在宅医療部 部長

慢性疾患セルフマネジメントプログラムを通じた多職種連携の取り組み

伊藤 雅治 氏

特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会 理事長

新しい地域医療の創出にむかって—21世紀のプライマリ・ヘルス・ケアを礎として考える

本田 徹 氏

浅草病院 医師
特定非営利活動法人シェア=国際保健協力市民の会 代表理事



第3回 杉浦賞受賞者 (2014年度)

若年認知症のひとと家族のネットワーク構築に向けて
地域で支援する活動

高見 国生 氏

公益社団法人認知症のひとと家族の会 代表理事

地域多職種との地域包括ケアシステム勉強会を積み重ねて

内海 真 氏

独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 病院長

在宅慢性呼吸不全患者に対する訪問看護を中心とした地域連携による包括的呼吸ケアの展開

大平 峰子 氏

北信ながいき呼吸体操研究会
独立行政法人国立病院機構 東長野病院



第4回 杉浦賞受賞者 (2015年度)

地域の特性に応じた認知症初期支援体制構築の支援

粟田 主一 氏

東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と介護予防研究チーム 研究部長

名古屋市医師会の在宅医療・介護連携の取組みについて：

「在宅医療・介護連携支援センター」

「在宅医療・介護支援システム」

「名古屋市在宅医療・介護連携ガイドライン」

真野 寿雄 氏

一般社団法人名古屋医師会 在宅医療・介護連携担当理事

地域包括ケアの要となる訪問看護の提供基盤を支える取組み
～訪問看護ネットワーク支援システムの構築と運用支援～

佐藤 尚子 氏

公益社団法人香川県看護協会 訪問看護ネットワーク センター長

自分たちの健康は自分たちで守る—ライフケアシステム35年の経験から

辻 彼南雄 氏

一般社団法人ライフケアシステム 代表理事
水道橋東口クリニック 院長
高齢者を支える学際的チームアプローチ 推進ネットワーク 理事長
日本在宅ケア学会 副理事長

患者協働の医療の実現に向けて
～医療者・患者がともに学ぶ場を街につくる～

患医ねっとペイシエントサロン



第5回 杉浦賞受賞者 (2016年度)

■ オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築
京都地域包括ケア推進機構

■ 佐久農村医療から被災地石巻の地域包括ケアへ
～いのちを大事にする社会を目指して～

長 純一 氏

石巻市立病院開成仮診療 所長
石巻市包括ケアセンター長

■ ケアマネジャーが孤立しないために、なにより燃え尽きないために、
そしてお互いが学び合い育ち合うために

白木 裕子 氏

株式会社フジケア 取締役社長

■ 専門職として住み慣れた地域で安心してその
人らしく住み続ける支援をする活動を広げる

村田 美穂子 氏

一般社団法人滋賀県介護福祉士会 会長
特定非営利活動法人宅老所心 理事長

■ すべての人々に有益な健康増進運動の普及・啓発をスローガンに
超高齢社会の救世主となるべく

「メディカルノルディック・ウォーキング」の確立に全力を注ぐ!!

木村 健二 氏

一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟



第6回 杉浦賞受賞者 (2017年度)

■ 共生社会の創造と熊本地震支援

小笠原 嘉祐 氏

特定非営利活動法人おーさぁ 理事長
社会福祉法人リデルライトホーム 理事長
特定医療法人社団 ビネル会ビネル記念病院 理事長
熊本県社会福祉法人経営者協議会 会長

■ 認知症とともに生きる本人が、
ともによりよく生きる社会を創り出すことを目的に活動を展開

日本認知症ワーキンググループ

■ 口腔ケアの国民への普及

—「口腔ケアの日」を通じて知ってもらいたいこと—

夏目 長門 氏

愛知学院大学歯学部附属病院 教授 医学博士 歯学博士
日本口腔外科学会 指導医、日本口腔ケア学会 指導医

■ 長年にわたる在宅患者への訪問看護実践・訪問看護を推進する
看護人材育成と訪問看護の普及活動

内田 恵美子 氏

株式会社日本在宅ケア教育研究所 代表取締役



第7回 杉浦賞受賞者 (2018年度)

■ 新宿区における若者自殺うつ予防活動

特定非営利活動法人 Light Ring.

■ 失語症者の地域生活を支援する
～途切れない支援をめざして～

**愛知県失語症会話パートナーの会
特定非営利活動法人あなたの声**

■ 都市部とへき地診療所の融合モデル—今後の地域包括ケアモデル
として

医療法人ゆうの森 たんぽぽ俵津診療所

■ 超高齢社会に対応できる「在宅訪問管理栄養
士」の人材育成と活動のしくみづくり

**公益社団法人愛知県栄養士会
在宅医療・介護委員会**

■ 子どもから高齢者まで幅広い世代の食生活を
地域で支援するしくみの開発と普及

平野 覚治 氏

老人給食協会ふきのとう 代表
社会福祉法人ふきのとうの会 理事長
一般社団法人全国食支援活動協会 専務理事



第8回 杉浦賞受賞者 (2019年度)

■ がん患者のアピアランス (外見) サポート活動

**特定非営利活動法人
全国福祉理美容師養成協会 (NPO.ふくりび)**

■ 生活者の想いに寄り添う地域包括ケアの構築
地域包括ケア支援システム『ナラティブブック秋田』

一般社団法人由利本荘医師会

■ 生きづらさを抱える少女・若年女性に対する多角的な支援

一般社団法人若草プロジェクト

■ 東日本大震災被災地における長期メンタルヘルス
支援活動

**特定非営利活動法人
心の架け橋いわて**

■ 全世代対象対応型拠点 おおもり語らいの駅 事業

澤登 久雄 氏

社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院
地域ささえあいセンター センター長



第9回 杉浦賞受賞者 (2020年度)

地域包括ケアと災害医療対策

千葉県野田保健所

松本 良二 氏
千葉県野田保健所 所長

視覚障害者などに対する食に関する情報の提供と食育の推進

公益財団法人すこやか食生活協会

中川 坦 氏
公益財団法人 すこやか食生活協会 理事長

ゆるくて楽しい歩行圏コミュニティづくり

富山大学歩行圏コミュニティ研究会

中林 美奈子 氏
富山大学 学術研究部 医学系地域看護学講座 准教授
富山大学歩行圏コミュニティ研究会 代表

地ストーマ保有者が暮らしやすい社会をめざした活動

～“わからない”を笑顔のある生活へ～

特定非営利活動法人

ストーマ・イメージアップ・プロジェクト

土田 敏恵 氏
特定非営利活動法人 ストーマ・イメージアップ・プロジェクト 代表

あいりんのおっちゃんと共に生きる

社会福祉法人石井記念愛染園

あいりん地域総合相談窓口

高市 里美 氏
社会福祉法人石井記念愛染園 あいりん地域総合相談窓口



第10回 杉浦賞受賞者 (2021年度)

まちっこプロジェクト

松戸市医師会健康啓発委員会

川越 正平 氏

「あした晴れますように」認知症の人の家族介護者向け教室(通称:あすはれ教室)

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

もの忘れセンター

認知症心理社会的支援プロジェクトチーム

櫻井 孝 氏
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター もの忘れセンター センター長

清家 理 氏

同外来研究員

竹内 さやか 氏

同認知症看護認定看護師

訪問看護を基盤とした地域共生社会への支援

一般社団法人南区医師会

南区医師会訪問看護ステーション

高砂 裕子 氏
管理者



※各QRコードから動画もご覧いただけます。(受賞者の所属・役職は受賞当時)

杉浦助成対象者一覧 (2012～2021年度)

第1回 杉浦助成対象者 (2012年度)

数井 裕光 氏	大阪大学 大学院医学系研究科 精神医学教室 講師	今津 嘉宏 氏	港区在宅緩和ケア研究会 会長
高瀬 佳苗 氏	福島県立医科大学 看護学部 准教授	番匠 千佳子 氏	聖隷浜松病院 看護部
五十嵐 中 氏	東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学 特任助教	立石 容子 氏	大阪府訪問看護ステーション協議会 理事
富樫 敦 氏	公立大学法人宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科 教授		

第2回 杉浦助成対象者 (2013年度)

平川 仁尚 氏	名古屋大学大学院医学系研究科附属クリニカルシミュレーションセンター 病院助教	成田 有吾 氏	三重大学 医学部 看護学科 教授
富樫 敦 氏	公立大学法人宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科 教授	阪野 静 氏	特定非営利活動法人がん患者サポート研究所「きぼうの虹」保健師
小嶋 佳代子 氏	西尾市民病院 看護師 地域医療連携室 室長	川嶋 みどり 氏	一般社団法人日本で・あーて、TE・ARTE、推進協会
阿部 泰之 氏	旭川医科大学病院 緩和ケア診療部 副部長	野崎 園子 氏	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 大学院医療科学研究科 教授
平林 久幸 氏	医療法人ライフサポート わたらせリバーサイドクリニック 理事長	倉賀野 穰 氏	株式会社モバイルカザス 代表取締役
平原 佐斗司 氏	東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 副理事長 在宅サポートセンター長	金子 康彦 氏	独立行政法人国立長寿医療研究センター 栄養管理部 栄養管理室長

第3回 杉浦助成対象者 (2014年度)

井階 友貴 氏	福井大学 医学部 地域プライマリケア講座 講師	成田 光江 氏	国際医療福祉大学
宮田 康好 氏	長崎大学病院 泌尿器科 腎移植外科 准教授	内田 信之 氏	特定非営利活動法人あがつま医療アカデミー 理事長 原町赤十字病院 副院長
小野 理恵 氏	群馬大学医学部附属病院 薬剤部	松浦 尊磨 氏	多可赤十字病院 院長
清家 理 氏	京都大学こころの未来研究センター 上廣こころ学研究部門 助教	安井 浩樹 氏	名古屋大学 大学院医学系研究科 地域医療教育学講座 准教授
任 和子 氏	京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授	石川 朗 氏	神戸大学 大学院保健学研究科
野中久美子 氏	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健 研究チーム	石井 麻有子 氏	千葉大学環境健康フィールド科学センター
高見 清美 氏	学校法人大阪滋慶学園 大阪保健福祉専門学校		

第4回 杉浦助成対象者 (2015年度)

荒井 國三 氏	金沢大学 医薬保健研究域薬学系 教授	大久保 健作 氏	社会医療法人社団 大久保病院 理事長
西川 満則 氏	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 地域医療 連携室長 緩和ケア診療部 EOLケアチーム 医師	増田 昌人 氏	琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 診療教授
中村 一孝 氏	おおた高齢者見守りネットワーク 代表	渡邊 浩一郎 氏	大分県厚生農業協同組合連合会 鶴見病院 腫瘍内科部長
鈴木 恵子 氏	ボランティアグループ すずの会 代表	田中 貴子 氏	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻 理学・ 作業療法学講座 助教
野村 秀樹 氏	医療法人あいち診療会 あいち診療所野並	湯本 哲郎 氏	星薬科大学薬学教育研究センター 薬剤師職能開発研究部門 准教授
松田 幸久 氏	金沢医科大学総合医学研究所プロジェクト研究センター 精神神経科学 特定職員 (ポストドクター)	古屋 聡 氏	山梨市立牧丘病院
荒井 秀典 氏	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 副病院長	山下 和彦 氏	東京医療保健大学 医療保健学部 医療情報学 教授

第5回 杉浦助成対象者 (2016年度)

齊藤 正樹 氏	札幌医科大学アドミッションセンター 講師 (兼) 神経内科 脳神経外科	太田 亜里美 氏	新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科 准教授
大澤 匡弘 氏	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 神経薬理学分野	石丸 美奈 氏	千葉大学 大学院看護学研究科 准教授
久保田 洋子 氏	日本薬科大学 教授	赤津 裕康 氏	名古屋市立大学 大学院医学研究科 地域医療教育学 特任教授
平井 みどり 氏	神戸大学医学部附属病院 薬剤部 教授・部長	井上 真一郎 氏	岡山大学病院 精神科神経科 助教
山田 清文 氏	名古屋大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	柴田 龍宏 氏	久留米大学 医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門 助教
安部 陽子 氏	日本赤十字看護大学 准教授	西尾 美登里 氏	福岡大学 医学部 看護学科 助手 看護学博士
朝田 隆 氏	東京医科歯科大学脳統合機能研究センター 認知症研究部門 特任教授		

※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(対象者の所属・役職は助成当時)

第6回 杉浦助成対象者 (2017年度)

- 下村 裕見子 氏 北里大学 医学部 精神科学
菊池 守 氏 下北沢病院 病院長
瀧 愛美 氏 三重県立看護大学 大学院看護学研究科 生涯看護学分野
小児看護領域 大学院生
岩瀬 弘明 氏 京都橋大学 健康科学部 理学療法学科
石川 翔吾 氏 静岡大学 情報学部
宮里 実 氏 琉球大学 大学院医学研究科 医科学専攻 腎泌尿器外科学講座
清野 諭 氏 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健
地域保健研究チーム 研究員
野中 久美子 氏 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健
研究チーム
融 衆 太 氏 新渡戸記念中野総合病院 神経内科部長
横山 和仁 氏 順天堂大学 医学部 衛生学講座 教授
- 安部 恵 氏 一般社団法人松戸市薬剤師会 理事 日本大学薬学部薬剤師
教育センター 准教授
阿真 京子 氏 一般社団法人知ろう小児医療守ろう子ども達の会 代表
嶋澤 順子 氏 東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科 地域看護学
児嶋 亮 氏 一般社団法人京都府作業療法士会 精神科分野勉強会
ひきこもり支援ワーキンググループ 代表
北 和子 氏 とよあしネットワーク
成田記念病院 透析室 看護師
宮崎 つた子 氏 公立大学法人三重県立看護大学 地域交流センター センター長
小児看護学 教授
神植 達也 氏 アイン薬局浦和店 薬剤師
柴田 弘子 氏 難病支援研究会 代表、産業医科大学 産業保健学部 教授
金子 真理子 氏 東名古屋病院 整形外科 (チームだるま)
桑原 直行 氏 対馬市いづはら診療所

第7回 杉浦助成対象者 (2018年度)

- 井上 里加子 氏 岡山県立大学 保健福祉学部 栄養学科
田上 佑輔 氏 医療法人社団やまと やまと在宅診療所 登米 院長
松田 幸久 氏 福山市立大学 都市経営学部 准教授
泉 澤 恵 氏 日本大学 薬学部
富 樫 敦 氏 公立大学法人宮城大学 事業構想学群 価値創造デザイン学類 教授
高村 昭輝 氏 金沢医科大学 医学教育学講座/地域医療学講座 講師
宮崎 つた子 氏 公立大学法人三重県立看護大学 小児看護学 教授、
「e-ケアネットよっかいち」代表
溝神 文博 氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部
友田 燁夫 氏 医療法人陽気会 網小医院 院長
串田 一樹 氏 昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座 特任教授
- 福澤 恵 氏 茨城県立医療大学 大学院保健医療科学研究科
小山 善哉 氏 長崎市見通丸医歯 歯科医師
保里 恵一 氏 愛知県厚生農業協同組合連合会
知多厚生病院 地域医療福祉連携部長 附属篠島診療所長
水内 義明 氏 NPO法人 健康サロン 代表理事
永井 徹 氏 新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科
柴本 美佐代 氏 一般社団法人日本エルダーライフ協会 代表理事
西村 善博 氏 神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 特命教授/ 副院長
高山 かおる 氏 一般社団法人足育研究会 代表理事
谷合 憲明 氏 特定非営利活動法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会
理事長

第8回 杉浦助成対象者 (2019年度)

- 渡邊 理恵 氏 久留米大学 医学部看護学科 講師
石川 和美 氏 南医療生活協同組合 総合病院南生協病院 看護師
亀井 智泉 氏 信州大学 医学部 新生児学・療育学講座 特任助教
山下 和彦 氏 医療法人社団至高会 たかせクリニック 地域医療研究部 部長
成田 有吾 氏 三重大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 教授
上田 和孝 氏 東京大学 大学院医学系研究科 コピキタス予防医学講座 特任助教
中村 麻弥 氏 鹿児島大学病院 口腔顎顔面センター 口腔外科 医員
井上 誠 氏 新潟大学 大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテー
ション学分野 教授
東田 雪絵 氏 名古屋大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 博士前期課程2年
医療法人名古屋澄心会 名古屋ハートセンター 看護部
北上 守俊 氏 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教
寺石 文則 氏 岡山大学病院 消化管外科 講師
山口 佳小里 氏 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 作業療法学科 講師
(作業療法士)
- 菊谷 則行 氏 任意団体「松戸市の地域活動を推進する会」代表
瀧本 まり子 氏 東京医療保健大学 看護学部 看護学科 認知症看護認定看護師
村田 美保 氏 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京城東病院 認知症
看護認定看護師
谷口 明 氏 いび川農業協同組合 デイサービスセンター清流の里 言語聴覚士
立木 一美 氏 岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐阜・西濃医療センター
損斐厚生病院 言語聴覚士
奥 健志 氏 北海道大学病院 内科II 講師
内田 信之 氏 原町赤十字病院 副院長兼第1外科部長
井上 真一郎 氏 岡山大学病院 精神科神経科 助教
大河内 章三 氏 認知症に優しいまちづくり実行委員会 代表
横道 正克 氏 一般社団法人久留米健康くらぶ 理事長
志賀 悠平 氏 福岡大学病院 循環器内科 講師
矢津 剛 氏 医療法人矢津内科消化器科クリニック 院長

第9回 杉浦助成対象者 (2020年度)

【研究分野】

- 福田 仁氏** 高知大学 医学部附属病院 脳神経外科 特任講師
岡田 浩氏 京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 特定講師
小幡 匡史氏 合同会社Think Body Japan 代表社員
河西 千秋氏 札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座 主任教授
笹山 哲氏 京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 准教授
串田 一樹氏 昭和薬科大学 地域連携薬局 イノベーション講座/特任教授
間辺 利江氏 名古屋市立大学 大学院医学研究科 次世代医療開発学分野 准教授
西尾 美登里氏 日本赤十字九州国際看護大学 講師
柳 久子氏 筑波大学 医学医療系 保健医療学域 福祉医療学 准教授

【活動分野】

- 迫田 綾子氏** 日本赤十字広島看護大学 名誉教授/ はつかいち暮らしと看取りのサポーター
丸岡 弘治氏 介護老人保健施設横浜あおばの里 薬局長
密山 要用氏 東京大学 大学院医学系研究科 医学教育国際研究センター 医学教育学部門 客員研究員
森 安美氏 ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会 総合プロデューサー (主任介護支援専門員、社会福祉士)
木下 彩栄氏 京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授
竹内 淳子氏 じゅんちゃん一座 座長(代表)
後藤 みなみ氏 特定非営利活動法人ドリーム 事務局員
五味 達之祐氏 雲南市役所 身体教育医学研究所うなん 研究員(管理栄養士)
原見 美帆氏 一般社団法人メンタルウェルビーイングパートナーズ 理事長
五十嵐 知文氏 札幌市 豊平区西岡・福住地区 在宅医療連携拠点事業推進協議会(とよひら・りんく) 会長
 社会医療法人恵和会 西岡病院 院長
山西 友規氏 訪問看護ステーション相扶 訪問看護師

第10回 杉浦助成対象者 (2021年度)

【研究分野】

- 湊口 信也氏** 岐阜市民病院 心不全センター長/岐阜大学 大学院 特任教授 岐阜心臓リハビリテーションネットワーク 代表
夏目 長門氏 一般社団法人日本口腔ケア学会 理事長
三木 啓資氏 立行政法人国立病院機構 大阪刀根山医療センター 呼吸器内科 兼 臨床研究部 呼吸学研究室長
間瀬 広樹氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 副薬剤部長
小堀 宅郎氏 大阪大谷大学 薬学部 臨床薬剤学講座 助教
小泉 亜紀子氏 関西医科大学 大学院看護学研究科 博士後期課程
林 園子氏 一般社団法人ICTリハビリテーション研究会 代表理事

【活動分野】

- 田附 裕子氏** 大阪大学 大学院医学系研究科 准教授
森 亮太氏 いつだれkitchen 代表
琢磨 寛孝氏 一般社団法人宝塚市薬剤師会 理事
阿南 節子氏 医療法人英仁会 大阪プレストクリニック 薬剤部 薬剤師
池谷 啓氏 特定非営利活動法人楽舎 理事長
小野 雅之氏 地域を明るくするリハビリテーション専門職の会 代表
井上 真一郎氏 岡山大学病院 精神科神経科 助教
渡邊 理恵氏 久留米大学 医学部 看護学科 講師
福井 繁雄氏 一般社団法人Life Happy Well 理事



※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(対象者の所属・役職は助成当時)

研究会開催実績 (2012～2021年度)

1 都市型の看護介護医療等連携研究会

第1期	あるべき姿の議論 ～課題と問題点を中心に～	【座長】 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター名誉総長 大島 伸一 氏 【期間】 2012年4月～15年6月 (33回開催)
第2期	認知症の人がより良く生きていける社会の実現を目指す	【座長】 慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 【期間】 2015年8月～17年10月 (13回開催)
第3期	常に進化し続ける 地域包括ケアシステムの概念と実態	【座長】 慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 【期間】 2018年1月～19年3月 (8回開催)
第4期	地域包括ケアシステムの深化 ～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～	【座長】 埼玉県立大学 理事長／慶応義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏 【期間】 2019年5月～22年12月 (16回開催)

◎『都市型の看護介護医療等連携研究会講演録』を制作 (第1期～第4期をvol.1～vol.7までに収録)



2 地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会

開催実績	2014年10月～15年12月 8回開催	2016年2月～18年12月 17回開催	2019年2月～20年12月 9回開催
------	-------------------------	-------------------------	------------------------

◎2021年度

回数	開催日	テーマ／講師
第35回	2月10日(水)	高齢者薬物療法の考え方 青島 周一 氏 医療法人社団 徳仁会 中野病院／NPO法人 アヘッドマップ 共同代表
第36回	4月14日(水)	令和3年度介護報酬改定と高齢者の薬物療法 南 亮介 氏 厚生労働省老健局 調整官
第37回	6月9日(水)	ポリファーマシー外来の取り組みと薬剤師との連携 矢吹 拓 氏 独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター 内科医長
第38回	8月11日(水)	薬剤師の処方の適正化、薬物治療の適正化の役割 串田 一樹 氏 昭和薬科大学
第39回	10月13日(水)	睡眠薬における実践的なポリファーマシー対策 井上 真一郎 氏 岡山大学病院 精神科神経科 助教
第40回	12月15日(水)	薬剤師の専門性に基づいた処方適正化支援と事前合意プロトコルによる薬薬連携 間瀬 広樹 氏 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 副薬剤部長

3 愛知県地域再生・まちづくり研究会

開催実績

第1期 2015年4月～18年5月
32回開催

第2期 2018年6月～現在
47回開催

◎シンポジウム

開催地	開催日	テーマ／講師	参加人数
愛知	2016年 5月20日(金)	第1回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —未来の答えがここにある!— 増田 寛也 氏 日本創成会議 座長	640名
愛知	2017年 9月22日(金)	第2回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —真の高齢問題は40年後にくる— 石破 茂 氏 衆議院議員	880名
愛知	2018年 9月21日(金)	第3回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —高齢社会を生き抜く秘訣— 中村 秀一 氏 一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長	800名
愛知	2019年 9月20日(金)	第4回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム 未来の生き方改革～2040年・2060年に向けて～ 岩瀬 仁紀 氏 (スポーツコメンテーター、元中日ドラゴンズ投手)	830名



4 健康寿命延伸と介護予防を考える会

2013年に策定された第2次健康日本21では、「健康寿命の延伸」を最重要課題の一つに位置づけ、高齢期における健康増進に関する様々な取り組みを挙げるほか、要介護状態を予防するための様々な施策を実行に移してい

ます。当財団では「健康寿命延伸と介護予防を考える会」を発足させ、今後の我が国での健康寿命の延伸の具体的なあり方を追求しています。

研究会
趣旨

1. 介護予防を必要とする状態にかかわる概念や指標の整理
2. 介護予防施策における予防効果のエビデンスの確立と普及
3. 健康寿命延伸・介護予防の具体的対策における標準プロトコルの提言

【座長】 桜美林大学 老年学総合研究所 所長・大学院教授 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐
鈴木 隆雄 氏

開催実績

2016年9月～19年12月 16回開催

※講師の所属・役職は講演当時

健康増進セミナー開催実績 (2013～2021年度)

開催地	開催日	参加人数
2013年度		
兵庫(神戸市)	4月 6日(土)	480名
三重(津市)	5月25日(土)	400名
愛知(名古屋市)	6月16日(日)	800名
京都(京都市)	7月15日(月・祝)	500名
埼玉(さいたま市)	9月 8日(日)	500名
岐阜(大垣市)	10月 5日(土)	460名
滋賀(大津市)	11月 2日(土)	450名
2014年度		
東京(大田区)	1月18日(土)	400名
大阪(大阪市)	2月22日(土)	650名
群馬(前橋市)	3月 9日(日)	650名
兵庫(尼崎市)	4月19日(土)	650名
三重(四日市市)	5月25日(日)	600名
愛知(名古屋市)	6月15日(日)	800名
京都(京都市)	7月19日(土)	500名
埼玉(さいたま市)	9月20日(土)	500名
岐阜(岐阜市)	10月26日(日)	600名
神奈川(横浜市)	11月 1日(土)	500名
2015年度		
東京(文京区)	1月10日(土)	673名
大阪(大阪市)	2月14日(土)	936名
群馬(高崎市)	3月14日(土)	466名
兵庫(神戸市)	4月18日(土)	728名
三重(四日市市)	5月16日(土)	771名
愛知(名古屋市)	6月27日(土)	1,225名
埼玉(さいたま市)	7月 5日(日)	663名
京都(京都市)	9月 6日(日)	647名
岐阜(岐阜市)	10月17日(土)	792名
神奈川(横浜市)	11月 7日(土)	200名

開催地	開催日	参加人数
2016年度		
東京(文京区)	1月30日(土)	310名
大阪(大阪市)	2月20日(土)	450名
群馬(高崎市)	3月19日(土)	240名
兵庫(尼崎市)	4月16日(土)	400名
三重(四日市市)	5月21日(土)	490名
愛知(名古屋市)	6月 5日(日)	700名
埼玉(さいたま市)	7月 2日(土)	330名
京都(京都市)	9月 4日(日)	440名
岐阜(岐阜市)	10月15日(土)	400名
愛知(豊橋市)	11月 6日(日)	330名
2017年度		
東京(文京区)	1月28日(土)	525名
大阪(大阪市)	2月18日(土)	718名
群馬(高崎市)	3月20日(月・祝)	482名
兵庫(神戸市)	4月15日(土)	381名
三重(津市)	5月13日(土)	658名
愛知(名古屋市)	6月17日(土)	596名
埼玉(川越市)	7月22日(土)	466名
京都(京都市)	9月30日(土)	587名
岐阜(岐阜市)	10月28日(土)	735名
2018年度		
東京(大田区)	1月 8日(月・祝)	308名
大阪(大阪市)	2月10日(土)	450名
兵庫(神戸市)	4月 7日(土)	330名
愛知(名古屋市)	5月13日(日)	460名
三重(津市)	6月24日(日)	362名
埼玉(さいたま市)	7月16日(月・祝)	370名
京都(京都市)	9月24日(月・祝)	370名
岐阜(岐阜市)	10月20日(土)	450名

開催地	開催日	テーマ／講師	参加人数
2019年度			
東京(江東区)	1月12日(土)	『在宅医療って?』 ～療養生活と終活を一緒に考える～ 島田 潔氏 板橋区役所前診療所 院長	250名
大阪(大阪市)	2月 3日(日)	日本人のための病気になるない食事術 石黒 伸氏 医療法人アクア アクアメディカルクリニック 理事長	620名
兵庫(神戸市)	4月27日(土)	地域で人生を最後まで過ごすには 山口 高秀氏 医療法人おひさま会 理事長 やまぐちクリニック 院長	550名
埼玉(さいたま市)	7月14日(日)	住み慣れた我が家・地域で 自分らしく暮らし続けるための在宅医療 矢澤 聰氏 医療法人慶聴会 矢澤クリニック 理事長	545名
京都(京都市)	9月23日(月・祝)	善くいきいきるために ～在宅緩和ケアって何?～ 渡辺 剛氏 渡辺緩和ケア・在宅クリニック 院長	566名
2020年度			
愛知・東京・大阪 (3元中継)	8月30日(日)	ポストコロナ時代の健康長寿を考える 荒井 秀典氏 国立長寿医療研究センター理事長	300名
		健康応援薬局の役割とは 杉浦 伸哉氏 杉浦記念財団副理事長	
愛知・東京・大阪 (3元中継)	9月27日(日)	コロナと共に生きる時代、薬局をどう活用するか? 堀 美智子氏 スギホールディングス社外取締役	500名
		病気の予防や健康維持、簡単な栄養アドバイス! 吉本 のりこ氏 スギ薬局管理栄養士	
愛知・東京・大阪 (3元中継)	10月25日(日)	ウィズコロナ時代の認知症予防と治療 勝野 雅央氏 名古屋大学大学院医学系研究科教授	500名
		地域での薬局薬剤師の活躍 山本 卓資氏 スギ薬局出戸店管理薬剤師	
2021年度			
愛知・東京・大阪・ 石川(4元中継)	4月25日(日)	健康を保つ方法：内科医のつぶやき 金子 周一氏 金沢大学附属病院 消化器内科教授／WHO 協力センター長	600名
		地域に貢献する薬局の役割 杉浦 伸哉氏 杉浦記念財団副理事長／スギホールディングス株式会社 取締役／ 株式会社スギ薬局 常務取締役／スギメディカル株式会社 取締役	

※講師の所属・役職は講演当時

フォーラムその他

高齢者とくすりのフォーラム

～くすりとの正しい付き合い方をわかりやすくお話します～



荒井 秀典 氏

溝神 文博 氏

多くの薬を服用することで副作用や飲み間違い、残薬などの薬に関する問題が起きる状態（ポリファーマシー）を中心に薬、健康食品、サプリメント等の適正使用への理解を深める講演会を開催いたしました。

主催：公益財団法人 杉浦記念財団

後援：愛知県、名古屋市、一般社団法人愛知県薬剤師会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、公益社団法人愛知県看護協会

開催地	開催日	テーマ／講師	参加人数
愛知(名古屋市)	2019年9月29日(日)	健康長寿のための正しいお薬の飲み方を考える 荒井 秀典 氏 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長	450名
		ポリファーマシーって知っていますか？ ～高齢者が気をつけたい多すぎるくすり副作用～ 溝神 文博 氏 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬学部	

※講師の所属・役職は講演当時

認知症医療介護推進フォーラム

認知症医療介護の動向を踏まえた多職種連携フォーラム（認知症予防・治療の知識や、認知症への理解を深めることに資する講演、討論等）を計6回開催しています。

主催：国立長寿医療研究センター認知症医療介護推進会議

共催：公益財団法人 杉浦記念財団

後援：厚生労働省、日本医師会、日本看護協会、日本歯科医師会、日本介護支援専門員協会、日本介護福祉士会、国立精神・神経医療研究センター、全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会、全日本病院協会、日本精神科病院協会、日本認知症学会、日本認知症グループホーム協会、日本認知症ケア学会、日本認知症本人ワーキンググループ、日本慢性期医療協会、日本薬剤師会、日本老年医学会、日本老年看護学会、日本老年精神医学会、認知症介護研究・研修センター、認知症の人と家族の会



開催地	開催日	タイトル
愛知(名古屋市)	2014年2月23日(日)	認知症でも地域で穏やかに暮らすために 1
東京(千代田区)	2015年2月22日(日)	認知症でも地域で穏やかに暮らすために 2
京都(京都市)	2016年2月21日(日)	時機に対応した認知症医療・介護への取り組み
愛知(名古屋市)	2017年2月19日(日)	認知症の人と社会のかかわり
東京(文京区)	2018年2月18日(日)	意欲をもって地域で暮らすために
大阪(大阪市)	2019年2月17日(日)	これからの認知症施策 ～本人、家族にとって、本当に必要なもの～

※QRコードから動画もご覧いただけます。

これまでの主な活動内容 (2011～2022年度)

PHOTO SKETCH

[フォトスケッチ]



杉浦賞・杉浦助成



研究会



健康増進セミナー



フォーラムその他



7月1日、公益認定「公益財団法人 杉浦記念財団」に改称

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016		
杉浦賞・杉浦助成		第1回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞4者 杉浦助成7者)	第2回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者 杉浦助成12者)	第3回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者 杉浦助成13者)	第4回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者 杉浦助成14者)	第5回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者 杉浦助成13者)		
研究会	都市型の看護介護医療等連携研究会／第1期 ●4月～15年6月(33回開催) 第1期「都市型の看護介護医療等連携研究会」発足 テーマ：あるべき姿の議論 ～課題と問題点を中心に～ 			第2期 ●8月～17年10月(13回開催) 第2期テーマ：認知症の人がより良く生きていける社会の実現を目指す 			愛知県地域再生・まちづくり研究会／第1期 ●4月～18年5月(32回開催) 「愛知県地域再生・まちづくり研究会」発足  ●5月 第1回「長生きを喜ぶまちづくりシンポジウム」 テーマ：未来の答えがここにある！	
	地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会 ●10月～22年12月(46回開催) 「地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会」発足 			●6月～(7回開催) 「いくつになっても元気で活動しよう」 				
健康増進セミナー	健康増進セミナー ●4月 第1回「健康増進セミナー」開催 (兵庫県) 			●3月～(25回開催) 健康増進セミナー 「ごきげんに年を重ねる秘訣」				
フォーラムその他	●7月 市民公開講座「認知症セミナー」開催(名古屋) ●10月 一般公開セミナー「超高齢社会における地域連携」開催(東京)		市民公開講座 参加無料 認知症セミナー みんなで学ぼう! 予防から介護まで 7月15日(日) 14時～17時 名古屋大学 豊田講堂 		●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「認知症でも地域で穏やかに暮らすために1」		●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「認知症でも地域で穏やかに暮らすために2」	

9月1日「一般財団法人杉浦地域医療振興財団」設立

これまでの主な活動年表

2017	2018	2019	2020	2021	2022
<p>第6回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞4者 杉浦助成20者)</p>	<p>第7回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者 杉浦助成19者)</p>	<p>第8回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者 杉浦助成24者)</p>	<p>第9回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者 杉浦助成20者)</p>	<p>第10回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者 杉浦助成16者)</p>	<p>第11回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者 杉浦助成15者)</p>
<p>第3期</p> <p>●1月～19年3月(8回開催) 第3期 テーマ:常に進化し続ける地域包括ケアシステムの概念と実態</p>		<p>第4期</p> <p>●5月～22年12月(16回開催) 第4期テーマ:地域包括ケアシステムの深化～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～</p>		<p>第5期</p> <p>●10月 第5回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ:人生100年時代</p>	
<p>第2期</p> <p>●6月～22年12月(47回開催)</p> <p>●9月 第2回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ:真の高齢問題は40年後にくる</p>		<p>●9月 第4回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ:未来の生き方改革</p>		<p>●9月 第3回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ:高齢社会を生き抜く秘訣</p>	
<p>健康寿命延伸と介護予防を考える会</p> <p>●16年9月～19年12月(16回開催) 「健康寿命延伸と介護予防を考える会」発足 サブテーマ:70代、80代を元気に乗り越える為に</p>					
<p>●3月～(5回開催) 「50代からの健康増進セミナー」</p> <p>●9月～ 「いつまでもハツラツと元気でいよう」</p>	<p>●4月～(8回開催) 「いつまでも元気で過ごそう」</p>	<p>●4月～(3回開催) 「健康増進セミナー」</p>	<p>●8月～(3回開催) 「健康増進セミナー」 3密を回避・3元ネットワーク開催</p>	<p>●4月 「健康増進セミナー」</p>	<p>●2月～(3回開催) 「健康増進セミナー」</p>
<p>●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「認知症の人と社会のかかわり」</p>	<p>●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「意欲をもって地域で暮らすために」</p>	<p>●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「これからの認知症施策～本人、家族にとって、本当に必要なもの～」</p> <p>●9月 第1回「高齢者とくすりのフォーラム」開催</p>	<p>●3月 コロナ禍で医療施設など1100カ所にマスク寄贈</p>		
				<p>●4月 日本赤十字社「ウクライナ人道危機救援金」に1000万円を寄付</p>	

ご寄附のお願い

当財団は、2011年9月1日の設立以来、着実に公益事業活動の幅を広げ、2015年7月1日には内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受けました。今後もますます地域の皆様のお役に立つよう、まい進して参ります。つきましては、当財団の活動意義をご理解いただき、さらなるご支援をお寄せ下さいますよう、心よりお願い申し上げます。

なお、当財団への寄附金は、特定公益増進法人への寄附金として税法上の優遇措置が受けられます。

ご寄附のお申し込み方法

こちらのQRコードからご寄附をお申し込みいただけます。
ご質問などの詳細事項は、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。



[お問い合わせ]

☎0562-45-2731 (受付時間 平日9:00～17:00)

FAX : 0562-45-2732

E-mail : info@sugi-zaidan.jp

[所在地]

〒474-0011 愛知県大府市横根町新江62番地の1

お問い合わせの内容、お時間によっては、翌日以降のご回答となる場合がございますので、ご了承下さい。

詳しくはHPをご覧ください。

杉浦記念財団

検索



こちらからもHPへ
アクセスいただけます。